

JSPS Information

- ◇日本惑星科学会第61回総会議事録
- ◇日本惑星科学会第166回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会賛助会員名簿

◇日本惑星科学会第61回総会議事録

日時:2024年5月31日(金) 12:30-13:30

場所:幕張メッセ 国際会議場102

正会員数:605名

定足数:61名

参加人数:69名

委任状:158通(議長:154通, 倉本圭会員, 中村昭子会員, 荒川政彦会員, はしもとじょーじ会員:各1通)

1. 開会宣言

諸田智克総務専門委員が開会を宣言。

2. 議長団選出

運営委員会からの推薦で議長に小池みずは会員, 書記に西川泰弘会員が選出された。

3. 議事

3.1. 審議事項

・第17期上期(2023年度)活動報告(竝木会長)

日本地球惑星科学連合2023年大会及び秋季講演会の開催状況などの説明がなされた。学会誌, 欧文誌の発行が問題なく行われたことが説明された。最優秀発表者賞, 優秀発表賞の受賞があったことが説明された。惑星科学フロンティアセミナーの開催などがあったことが説明された。学会員数の報告がなされた。

・第17期下期(2024年度)基本方針(竝木会長)

日本地球惑星科学連合2024年大会が現在開催中であること, 参加人数がコロナ前に戻りつつあること, 及び2024年度秋季講演会が開催予定であることなどの説明がなされた。学会誌, 欧文誌の発行予定があることが報

告された。秋季講演会にて最優秀発表賞の選考があることが報告された。フロンティアセミナー及び探査データ解析実習会が開催予定であることが報告された。

・第17期上期(2023年度)会計決算報告(横田財務専門委員長)

未収金が当該年度の会費未納額であること、60万円程度の赤字であること、資産が1000万ほどあるので直近で問題にはならないことが報告された。

・会計監査報告(大槻会計監事)

収支決算に誤りのないことが報告された。

・学会名郵便口座開設に伴う会則の変更について(諸田総務専門委員)

学会の予算を貯金している総合口座の名義が財務専門委員長になっているが、これを学会名義に変更したい。ところが、当学会は人格なき社团扱いであるため、口座の名義変更が不可能であった。

そこで、学会名で総合口座を新たに開設するにあたり、会則付則に本会の所在地を財務専門委員長所属機関から事務局所在地に変更しなければならなくなった。

そのため、付則1.を本会事務局の所在地住所に変更したい。

・質疑応答及び討論

法人化するという事について議論はなかったのか？

→過去に議論が行われたため、今回は法人化に関する議論は行われなかった。(諸田総務専門委員)

・採択

審議事項の採決が行われ、賛成: 227(うち出席者69)、反対: 0、保留: 0により採択された。

会則の変更に関して採決が行われ、賛成: 227(うち出席者69)、反対: 0、保留: 0により採択された。

3.2. 報告事項

・第17期下期(2024年度)予算執行状況(横田財務専門委員長)

収入はおおよそ予算案通り、支出はその後の契約見直しにより、管理費が60万円増の見込みであること、遊星人の印刷費及び発送費が上がり赤字傾向であること、年間100万円程度の赤字が出ることで安定していることなどの報告があった。

・2023年度最優秀研究者賞受賞者発表(黒川学会賞選考委員長)

田崎亮会員が最優秀研究者賞に選ばれ、選考過程や講評の説明がなされた。

・2024年秋季講演会について(中島2024年秋季講演会組織委員)

2024年9月24(火)-26(木)に九州大学医学部百年講堂で開催されること、参加費が値上がりしたこと、会場の様子などの説明がされた。

・その他

・事務局体制の検討状況について(竝木会長)

惑星サーバの機能移転のために必須機能、移行先について調査検討中であること、事務局機能のスリム化に伴い、コストとサービスについて検討中であること、今後のスケジュールについての報告がなされた。

・太陽系GDI について(渡邊惑星探査専門委員)

戦略的中型絞り込みがFY2027に見送られたこと, 太陽系統合RFI(ロードマップ)の検討がFY2025末に向けて行われていることが報告された.

・質疑応答

太陽系GDIには工学も入っているのか?

→工学にもGDIがあり 工学とも連携して進めている.(渡邊惑星探査専門委員)

4. 議長団解任

5. 閉会宣言

諸田智克総務専門委員が閉会を宣言.

以上

◇日本惑星科学会第166回運営委員会議事録

日時:2024年5月30日(木)17:30-19:00

場所:日本地球惑星科学連合2024年大会会場 幕張メッセ国際会議場106

+Zoom Meeting(ハイブリッド)

運営委員:

出席者18名

竝木 則行, 今村 剛, 中村 昭子, 玄田 英典, 保井 みなみ, 関根 康人, 大竹 真紀子, 千秋 博紀, 小林 浩, 田中 秀和, 諸田 智克, 臼井 寛裕, 三浦 均, 横田 勝一郎, 中本 泰史, 百瀬 宗武, 野村 英子, 癸生川 陽子

欠席者5名(委任状:会長4名)

瀧川 晶, 村上 豪, 亀田 真吾, 関 華奈子, 奥住 聡

オブザーバー:

黒川 宏之(2023年学会賞選考委員長)

中島 健介(2024年秋季講演会組織委員)

伊藤 祐一(2024年連合大会プログラム委員)

北里 宏平(総務専門委員)

議題・報告事項:

1. 日本地球惑星科学連合:プログラム委員会(伊藤 連合大会プログラム委員)

・ 次年度のプログラム委員に吉田辰哉会員(正)と丹秀也会員(副)が推薦され, 承認された.

- ・ 次年度の惑星科学セッションのコンピーナには富永遼佑会員(代表), 田畑陽久会員, 辰馬未沙子会員, 小林真輝人会員が就任する.
 - ・ 2024年大会の学協会セッションに登録されたのは「惑星科学」, 「宇宙・惑星探査の将来計画及び関連する機器開発の展望」, 「惑星火山学」の3セッション.
2. 2023年度最優秀研究者賞について(黒川 2023年学会賞選考委員長)
- ・ 応募者2名に対して選考を行なった旨説明がなされた.
 - ・ 選考委員会からの推薦に基づき, 田崎亮会員を受賞者として決定した.
3. 2024年秋季講演会について(中島 2024年秋季講演会組織委員)
- ・ 秋季講演会で発生する収支と支出を算出した結果, 赤字になることが判明したとの説明がなされた.
 - ・ 赤字回避の方策として, 参加費の引き上げ, 学会補助金の増額, ポスターの張り替え制, 口頭発表時間の短縮などが提案された.
 - ・ 議論の結果, 正会員一般と非会員の参加費をそれぞれ6,000円と8,000円に引き上げ, かつ学会からの補助金を30万円程度まで増額することを決定した.
 - ・ ポスターの張り替え制と口頭発表時間の短縮については引き続き行事部会で検討することとした.
 - ・ 玄田行事部長より, 2025年秋季講演会の組織委員会が東京大学駒場キャンパスに決定したとの報告がなされた. 組織委員長は成田憲保会員.
4. 学会賞選考委員の入れ替え(保井 総務専門委員長)
- ・ 2024年度学会賞選考委員に百瀬宗武会員(委員長), 鎌田俊一会員(幹事), 亀田真吾会員, 古川善博会員, 山本聡会員, 平野照幸会員, 瀧川晶会員, 高木征弘会員, 平井隆之会員の9名が推薦され, 承認された.
 - ・ 諸般の事情により2024年度は9名体制となるが, 次年度以降は再び8名体制に戻る.
5. 第17期上期活動報告, 第17期下期活動計画(保井 総務専門委員長)
- ・ 活動報告書と活動計画書の内容について説明がなされた.
6. 入退会状況報告(保井 総務専門委員長)
- ・ 会員数に大きな変動はないことが報告された.
7. 第61回総会の議長・書記の推薦について(保井 総務専門委員長)
- ・ 議長に小池みずは会員, 書記に西川泰弘会員が推薦され, 承認された.
8. 学会名郵便口座開設に伴う会則改定について(保井 総務専門委員長)
- ・ 学会名義の新しい口座を開設するのに伴い, 会則付則の本会の所在地を財務専門委員長所属機関から事務局所在地に変更する必要がある旨説明がなされた.
9. 総務専門委員会の臨時体制について(保井 総務専門委員長)
- ・ 保井総務専門委員長が産休・育休に入るため, 今期残り期間の総務専門委員会は藤谷委員を委員長代理とした臨時体制になる旨説明がなされた.
10. 事務局体制の検討状況について(諸田 事務局体制検討作業部長)

- ・ 会員管理システム提供サービス事業者2社にヒアリングを行った。
 - ・ JpGUへの学会事務局作業の委託を検討している。
 - ・ コスト・作業削減案として遊星人のデジタル化や振替用紙の印刷廃止を検討している。
 - ・ 遊星人のデジタル化については編集委員会にも検討を依頼する。
 - ・ 秋の運営委員会で再度議論し、その後の総会で報告することを考えている。
11. 第17期上期決算(横田 財務専門委員長)
- ・ 決算報告書に基づいて説明がなされた。
12. 第17期下期予算執行状況(横田 財務専門委員長)
- ・ 収入は予算案通り。
 - ・ 支出は事務局関連の契約の見直しにより60万円増の見込み。
13. 次期EPS副編集委員長及び後任の選考委員の選出について(大竹 欧州誌専門委員長)
- ・ 次期EPS副編集長候補に玄田英典会員を、後任の選考委員に大竹真紀子会員を推薦した旨報告がなされた。
14. 遊星人の発行状況報告(三浦 編集専門委員長)
- ・ 順調に発行できている。
 - ・ 編集専門委員会の新委員に小玉貴則会員が推薦され、承認された。
15. 遊星人電子版の著作権管理委託について(三浦 編集専門委員長)
- ・ 冊子版と同様に電子版も著作権管理委託することが提案され、承認された。
 - ・ EBSCO学術論文データベース(EBSCOhost)に遊星人を登録することが提案され、承認された。
16. 学会サーバのOSアップグレードについて(千秋 情報化専門委員長)
- ・ サーバOSのセキュリティサポートが2024年6月末までで切れるため更新が必要。
 - ・ サーバの更新及び運用に伴う経費の支出が承認された。
 - ・ スпамフィルタの導入を検討している。
17. その他
- ・ 竝木会長より、生物科学学会連合からの要望書および署名活動への協力について説明がなされた。
 - ・ 議論の結果、単学会として名乗り出ないがJpGUが賛同することを支持する、と回答することを決定した。

以上

◇日本惑星科学会賛助会員名簿

2024年9月25日までに、賛助会員として本学会にご協力下さった団体は以下の通りです。社名等を掲載し、敬意と感謝の意を表します。(五十音順)

- ・NV5 Geospatial 株式会社
- ・株式会社ナックイメージテクノロジー
- ・株式会社ノビテック